

一通りお腹を満たしたら、流れる水で手を洗い、いよいよ川遊びの時間となりました。

＜流れる水に手を触れて＞



＜さあ、遊ぼうか＞



お酒好きの大人の参加者は、竹のおちょこで日本酒に舌鼓。雲ヶ畑の河原も日本酒バーに早変わりです。久保さんが手作りの“モンドリ”で捕獲された“アブラハヤ”を鑑賞しながらお酒を味わいました。

＜ここでも写真に記録＞



＜これは飲めません＞

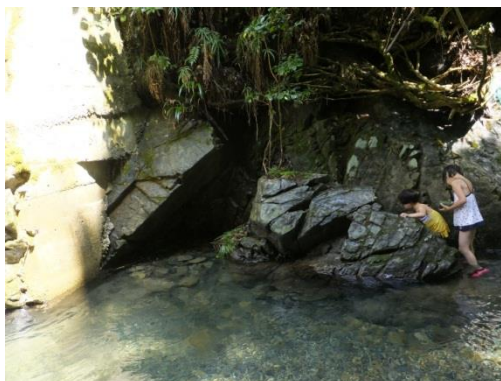


鴨川源流域の生き物を観察する子供達、水着に着替えて泳ぐ子供達、みんな活き活きとした顔を見せてくれました。大人も童心に帰って水遊びを満喫出来たようです。

＜お父さんの背中に乗って＞



＜岩場のカゲには何が？＞



全身水に入る事は封印していた大学生は、家族連れ参加者の水浴びに触発されたようで、岩場の傍の深みの深さをチェックしてダイブを楽しみました。

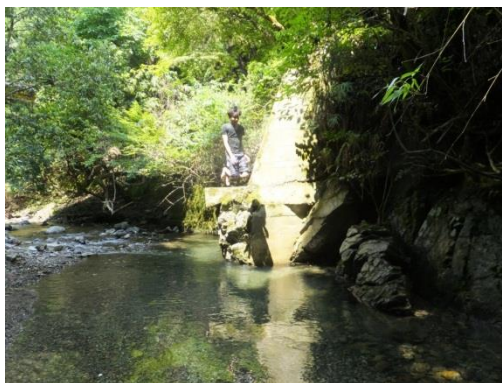
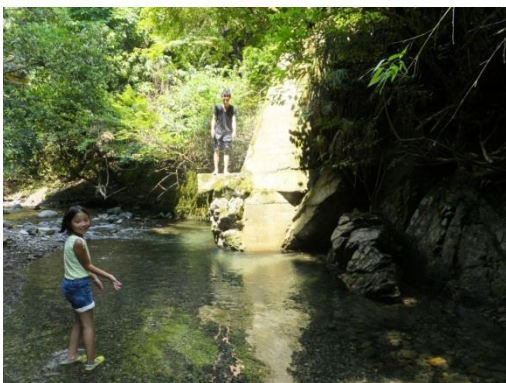
<迷う大学生>

<けっこう深いぞ。>



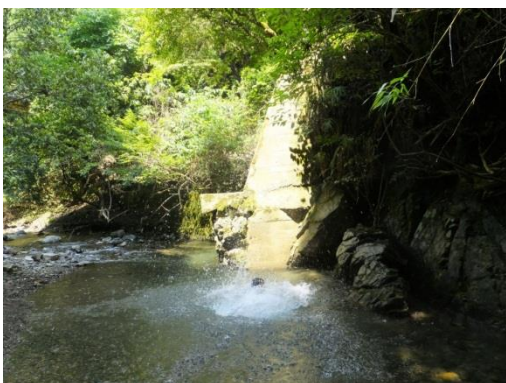
<いきま〜す！>

<“フワリ”と浮いて>



<“ざぶん”とスプラッシュ>

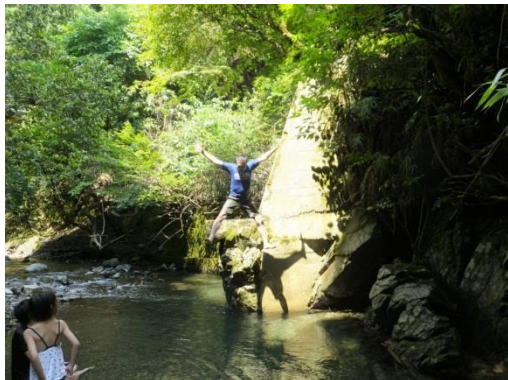
<よっしゃー！>



この後何度かジャンプにトライされていました。

これを見た家族連れのお父さん、若い者に負けていられないとばかりに大の字ポーズで連続ジャンプです。子供の前でメンツがたったようです。

<大の字ジャンプ>



<もういっちょ>



生き物調査をしていた子供達は、流しそうめんに使用した竹の器に捕獲した生き物を入れて詳しく観察していました。生き物が飛び出さないように落ち葉で蓋をした器を除いてみると、“小さな、小さな”小魚、“サワガニ”、“オオサンショウウオ”の幼生（こんな小さな幼生初めてみました）、
<観察用容器に役割を変えた竹の器 お弁当の様にも見えます>



<動かなければ分からない小魚>



<サワガニ 大中小>



<オオサンショウウオの幼生>



<竹の器も這い上がって>



楽しい流し“そうめん大会”も終了の時間が近づきました。子供達は、川の水で冷やしたスイカでスイカ割り大会です。子供達の手では割ることが出来なかったため、大学生が最後に登場です。大上段に振り上げた棒を、「エイ！」と振り下ろすと「ジャストミート」。切り分けてスイカを味わって要るところに突然の豪雨に見舞われました。

<もっと“左”>



<ここだ〜>



短時間で雨はあがり、もくもく号の時間が近づきました。そこへ久保さん宅のお孫さんとお友達と5人でお越しになりました。今日大活躍の大学生、音頭

(おんどう)さんと楽しい笑顔で記念撮影して無事イベントは終了しました。

理想の森プロジェクトの皆さん、相談役の久保夫妻ありがとうございました。真夏の避暑地“雲ヶ畑”を満喫させて頂きました。今後ともよろしく願いいたします。

音頭(おんどう)さんと、理想の森プロジェクトの森綾子さん、久保さんのお孫さんとお友達の楽しそうな笑顔をお届けして今回のレポートを終えます。

<ちょっと恥ずかしいかな>

<もっと近くへ寄れば>



<早く!>

<バッチリピースで はいポーズ>



(さとし)